



病児保育だより

病児保育室 やまさきこどもクリニック
デディーズ YAMASAKI Kodomo Clinic

2023年 8月



夏になってもまだ「新型コロナウイルス」、「インフルエンザ」、その他(RSウイルス・ヘルパンギーナ・)と様々な感染症が流行しております。それらの感染症による発熱のなかにまぎれている感染症のひとつとして、「突発性発疹症」について今一度おさらいしたいとおもいます。覚えておいていただきたい症状・病態、罹患時の対応を紹介します。

「突発性発疹症」ってなあに？

感染経路は経口感染と考えられています。
90%が1歳未満(99%が0~1歳)で罹り、
1度罹ると2回目はほとんどありません(※)。

原因ウイルスはヒトヘルペスウイルス6型
(あるいは7型)といわれています(稀に2回
罹ってしまいます※)。

Q: 「3歳までに罹らなかったら？」
⇒ 「もう罹りません。というか、症状なく
どこかで感染が済んでたのでしょうか」

【症状は】

- ・発熱：3~4日間続く(だけど元気！)
- ・軽度の下痢・咳鼻汁
- ・嘔気~嘔吐
- ・発疹(お腹や背中を中心に「解熱後」)
「突発性発疹症」で画像検索して下さい
(画像掲載のスペース足りず、すみません、)
- ・熱性けいれん(右記⇒)
などなど、

【潜伏期間】

1~2週間(とか10~14日も言われます)

【検査・予防接種はありません】

「突発性発疹症かな？」ってわかるの？



難しいです。解熱後の発疹が出る頃には病気自体は治ってるところです。後から
答え合わせのような感じです。熱や症状が出たとき、水分補給に気をつけ他の検査
が必要な病気や重い病気 等の否定ができてから解熱後の発疹を待つイメージです。

「突発性発疹症」と「熱性けいれん」

約10%(他の病気より高い)の子に「熱性けいれん」がおこります。ほとんどは
熱の出始めに、5分以内でおさまるもので後遺症を残しません。かかりつけや
病院に相談・受診しましょう。ただし、発疹が出た頃(解熱後)におこるけいれんは
すぐにかかりつけ~病院の受診(場合によっては入院)が必要です。

どうやって治療するの??

特別な治療方・薬はありません、。基本的には
それぞれの症状に対して風邪薬・整腸剤 等での
対症療法になります。発疹に関しても特別な治療
なく自然と消退します。けいれんにつ
いては上記の通りです。

【出席停止の目安】

熱が下がった頃には発疹
が出ていてもその他の症状
がなければ登園okです。

【ここ数ヶ月間に当院病児保育
をご利用された方の病気】

「気管支炎」「手足口病」
「気管支喘息発作」「胃腸炎」
「RSウイルス感染症」
「ヒトメタニューモウイルス
感染症」「ヘルパンギーナ」
などなど、

やまさきこどもクリニック
病児保育室 Teddy's
TEL: 0956-37-8813

